

MICRO^(HOME MADE 家族)が刈谷市広報大使に就任！



MICROさん就任動画



▲刈谷市公式
YouTubeチャンネル

MICROさん公式SNS

Twitter
@micromansunrise
Instagram
@microman_sunrise

就任メッセージ

この度、刈谷市広報大使を拝命しました、HOME MADE 家族のMICROと申します。刈谷市泉田町育ち。富士松南小学校出身でミュージシャンをしています。

生まれ育った大好きなまち刈谷市は、僕にとって大切な地元で、特にまちを流れる逢妻川は音楽活動にもたくさんのインスピレーションを与えてくれた最高の思い出の場所です。そんな刈谷市の情報発信のお役に立てることを心よりうれしく思います。

去年は、市制施行70周年の特別企画で、記念ソング「アイリス～希望の花言葉～」では、作詞・作曲・監修を務めました。「刈谷の歌をみんなで作ろう」というカリソンプロジェクトにご参加いただいた皆さん、歌声を届けてくれた子どもたち、本当にありがとうございました。100年先まで届けたいすてきな曲になりましたので、この曲をこれからもみんなで育てていきましょう。

今世の中はコロナでまだまだ大変な時ですが、刈谷市の花、カキツバタの花言葉のように「幸せは必ず来る」と信じてともに前を向いて生きていくことが大切だと思います。豊かなまち刈谷市には、刈谷ハイウェイオアシス、総合運動公園、そして駅前にはすてきな総合文化センター。また、無料で乗れるバスなど住む人にとってとても優しいまちだと思います。

これまで以上に刈谷市の魅力を発信し、まちの活性化に向けて精一杯お手伝いいたしますので、刈谷市の皆さま、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

カメラだより

万葉の世界を描くオリジナル音楽劇

総合文化センター(2月27日・28日)



文化工房かりや企画・主催で行われた市制施行70周年記念音楽劇「～万葉ろまん～青海郡 依佐美野ものがたり」。脚本・演出に田中ふみ枝氏、音楽に熊沢辰巳氏など豪華制作陣を迎え、さらに27人の公募市民を中心とした出演者たちによって描かれたこの物語は、古代の刈谷を舞台とした万葉の世界溢れる歴史作品です。観劇した人は「ミュージカルの部分の完成度が高く感動しました。故郷について今一度考えさせられました」と話しました。

自分たちの町は自分たちできれいに

東境町(3月7日)



今年で13回目の開催となる、東境地区クリーン大作戦。昨年は新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となってしまいましたが、今年は集合会場を複数に分けて人が密集しにくくするなどの対策をとり、規模を縮小して行われました。参加者は、「年々ごみが減っている。みんなの意識が変わってきてくれてうれしい」と話していました。